

腰痛予防労働衛生教育インストラクターコース(福祉・医療分野等コース)

社会福祉施設や医療分野においては、雇用労働者数が過去 10 年で約 2 倍と急増しており、災害増加率は、それを上回ってこの 10 年で約 2.5 倍近くになっています。特に腰痛については、社会福祉施設をはじめとする保健衛生業において最近の 10 年間で 2.7 倍に増加しています。

また、平成 25 年 6 月に厚生労働省が公表した「職場における腰痛予防対策指針」においては、「労働者には腰痛に発生に関する要因とその回避・低減措置について適切な情報を与え、十分な教育・訓練ができる体制を確立すること」としています。

本コースは、以上のことを踏まえ、福祉・医療において、腰痛予防のための労働衛生教育を実施する者を養成するとともに、適切な福祉用具の扱い方を学ぶ実習を多く取り入れ、その正しい取り扱い方と知識を習得し、広めることにより、腰痛予防対策の周知と推進を図ることを目的に実施するものです。

対象者	医療・福祉分野で腰痛予防教育を行うインストラクターとなる方	
開講日程	第 32 回 平成 29 年 10 月 25 日(水) ～ 10 月 27 日(金) (3 日間)	
開催場所	大阪安全衛生教育センター (大阪府河内長野市)	
定員	20 名	
受講料	78,840 円 (消費税 8%、テキスト代を含む) 宿泊は無料です。食堂を利用される場合は、別途食費がかかります。	
修了証	修了者には修了証を交付します。	
教科内容	1 インストラクターの心構え 2 衛生管理の概論 3 業務上腰痛の発生状況と対策事例 4 腰痛予防に係るリスクアセスメント・OSHMS 5 腰痛概論 6 作業管理	7 作業環境管理 8 健康管理 9 実習 (リフト・スライディングシート等の取扱い方) 10 体操の理論と実技 11 教育の方法 (指導案の作成、役割演技)

実習は、実際の福祉用具を使用します。この実習は、用具の使い方を習得することに留まらず、作業員に対してどのように使用方法を教えるのかについても習得していただきますので、職場に戻られて即実践で指導者 (インストラクター) としてご活躍いただけます。

腰痛予防労働衛生教育インストラクターコース(福祉・医療分野等コース) 教科日程表

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
第 1 日	9:00 受付	9:20 開講式 リエンション	10:20 休憩	10:30 L1 衛生管理 の概論(インストラ クターの役割と心 構えを含む)	11:50 昼食	12:40 同左(関係 法令・リス クアセス メントを 含む)	13:30 コ L3-1 腰痛概論 L6 健康管理	13:45 (途中10分休憩)	16:25 休憩	16:35 L4 作業管理 L5 作業環境管理 (途中10分休憩)	18:45 夕食 (情報交換)		
第 2 日	8:30 L3-2 アクションチ ェックリスト	10:00 休憩	10:10 L4・E 実習 (スライディングシー ト、スライディングボ ード、リフトなど)	12:10 昼食	13:00 L5・E 実習 (同左)	15:00 コ L8 教育方法 (指導案の作 成要領を含む)	15:15 休憩	16:45 L2-1(GS) 腰痛の発生 状況と対策事例 ワークショップ(課題を出し てのグループワーク)	16:55 休憩	18:55 夕食 自習 指導案 作成			
第 3 日	8:30 CS2 教育演技	10:45 コ L2-2(GS) 対策事例と ディスカッ ション	11:00 休憩	12:00 昼食	12:50 L7・E 体操の理論と 実技	14:20 休憩	14:30 同左	16:00 開講式	16:15 (注) 1 Lは講義、GSは討議、Eは実習を示す。 2 標準の日程であり、教科を移動する場 合があります。				

◎心とからだの健康づくり指導者の方々へ

本コースは、心とからだの健康づくり指導者レベルアップ研修の該当研修会に認定されています。
(認定単位数 2 単位)。お申し込みの際は、受講申込書の余白に「THP 指導者」とご記入ください。

